



星に願いを ～七夕まつり～

5月臨時会
・
6月定例会

広域連携の調査特別委を設置

合併を含めて調査

6月定例会は6月6日に開会し、17日間の会期で行いました。
「平成24年度一般会計補正予算」など、9議案を原案のとおり可決しました。
また、固定資産評価審査委員の選任に同意し、議員提案の1意見書は否決しました。
なお、全議員による「広域連携調査特別委員会」を設置しました。
5月11日には臨時会を開会し、2議案を可決・承認しました。

5月臨時会

▼子ども手当が児童手当に
国の制度改正により、町の負担が生じます。

6月定例会

―主な補正予算―

▼地域防災組織助成事業
100万円

地域防災組織に対する
(財)自治総合センターからの交付金です。

▼役場北側の土地
(163㎡)を購入
1400万円

▼子宮頸がん予防接種補助
拡大
昨年度に1回または2回
予防接種した、高校2年生
28人が対象です。

本会議質疑＆
委員会ダイジェスト

住民基本台帳法の改正
等に伴う条例制定

外国人登録証が廃止に

質問 影響を受ける町民
は、何人か。

回答 現在、本町に外
国人登録をしているのは、
491人で、国籍は32カ国
にわたる。

一般会計補正予算

積極的なPRを

質問 自治総合センター
は、さまざまな助成を行っ
ている。町民へ積極的に周
知すべきではないか。

回答 庁内で体制を整
え、PRに努める。

目的は

質問 購入する役場北側
の土地の用途は。

回答 来庁者の駐車場に
する予定である。

道路線の認定

行政指導は

質問 道路寄附を受ける
際、ライフラインの整備を
前もってできないか。

回答 町の開発指導要綱
に基づき指導する。

人事案件

固定資産評価審査委員



安井 宏氏

任期満了に伴い、再任に
同意しました。

任期は、平成24年9月
22日から3年間です。

将来を見つめ、広域連携を考える

〓広域連携調査特別委員会を設置〓

6月11日の本会議で、合併を含めた広域連携な
どを審査するため、全議員で構成する広域連携調
査特別委員会を設置しました。

委員長には服部勇夫議員、副委員長には横井良
隆議員を選出しました。

特別委員会では、左記の調査を行っていきます。
①町長が進めている「名古屋市合併」について。
②「中京圏構想」や「尾張名古屋共和国構想」に
ついて。

③海部地域との広域連携について。
本町の将来を見据えて、しっかりと調査検討し
てまいります。

	議 決 結 果 一 覧	賛成	反対	議決 結果
5月臨時会	町税条例の専決処分の承認	11	0	承認
	平成24年度 一般会計補正予算（第1号）	11	0	可決
6月定例会	住民基本台帳法の一部を改正する法律及び出入国管理及び難民認定法及び日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法の一部を改正する等の法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	11	0	可決
	国民健康保険税条例の一部改正	11	0	可決
	平成24年度 一般会計補正予算（第2号）	11	0	可決
	平成24年度 国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	11	0	可決
	県後期高齢者医療広域連合規約の変更	11	0	可決
	海部地区急病診療所組合規約の変更	11	0	可決
	海部地区環境事務組合規約の変更	11	0	可決
	道路線の認定	11	0	可決
	物品購入契約（小中学校の給食備品購入）	11	0	可決
	固定資産評価審査委員の選任同意（安井 宏氏）	11	0	同意
	核持ち込み密約を破棄し、非核3原則の厳守を強く求める意見書	1	10	否決

ずばり直言！ 一般質問

6月議会の一般質問は、6月11日に行い、7人の議員が町政をたどしました。質問と答弁を要約してお知らせします。

災害弱者に適応した防災対策の構築は



横井良隆議員

災害時、被害を受けやすい高齢者や障がい者などへの対策や支援が重要であるが、町の方策を聞く。

- ①災害弱者支援体制の確立は。
- ②災害弱者の情報共有と、ニーズの把握は。
- ③避難所のバリアフリー化や車いす対応トイレの整備は。
- ④被害軽減のため、若い力の活用は。

マニュアルで対応

福祉部長 ①「災害時要援護者支援マニュアル」で対応する。
②要援護者名簿を作成し、協力体制をつくる。
総務部長 ③簡易スロープや組立式簡易トイレを配備。
教育長 ④防災訓練を通じて、意識向上につなげる。
問 生活保護での問題は
答 不正受給はない

学校施設の非構造部材の耐震は大丈夫か



後藤田麻美子議員

本町は、小中学校校舎の耐震工事は終了しているが、非構造部材の耐震化は進んでいない。
学校は、災害時には避難所となる。本町も、照明器具や天井の落下、図書室の本棚や音楽室のピアノの転倒防止など、非構造部材の耐震化も早急に実施すべきと思うが、どうか。

安全点検を実施

教育長 本年度は校舎などのガラス飛散防止フィルムを施工する。
また、文部科学省の「学校施設の非構造部材の耐震化ガイドブック」に基づき、日常的な点検や対策を実施していく。
問 防災会議に女性登用を
答 進めていきたい

万全か 治水対策



下方繁孝議員

本町は、農地の宅地化が進み、保水・遊水能力が低下し、河川が氾濫する危険が増している。

鋭意努力

都市整備課長 ①排水ポンプは計画的にオーバーホールを実施し、能力維持に努めている。
②町のほぼ全域が市街化区域のため、農地を確保していくことは、困難である。
③今後、検討していく。

- ①排水ポンプの能力は万全か。
- ②農地の保水機能の維持は。
- ③雨水貯水池の増設の考えは。

地方税滞納整理機構に送られた事案の差押問題



吉原経夫議員

町税の滞納の一部は、西尾張地方税滞納整理機構に送られている。徴収できないものの一部を町が差し押さえをしている。差し押さえをしないと、滞納分が果たして回収できないのか。
差し押さえだけが、収納率の向上にプラスなのか。

厳正に対処

総務部長 個別事案には答弁を控えるが、関係法令に十分照らし合わせ、厳正な調査をしながら徴収事務を進めている。
問 体育協会会計横領事件の徹底究明と再発防止
答 管理体制を強化
他に5問ありました。

通学路の安全点検と危険箇所の早期改善を



折橋盛男議員

登校中の児童の列に、車が突っ込む事故が多発している。
文部科学省は、通学路の安全点検を義務付けた。そこで本町の安全対策と整備計画を問う。
①車道と歩道を区別するためにカラー舗装を、全小学校周辺の通学路に拡大すべきだ。
②狭い道路の側溝に蓋を取り付け、道幅を広げる計画はあるか。

カラー舗装を順次実施

町長 ①カラー舗装は、町の重点施策として計画的に進めていく。
②側溝に蓋をつける工事は進めていく。
特に、安全対策のため砂子川崎地内の200mを、今年度を実施する。

促進せよ 都市計画街路



服部勇夫議員

本町は、第4次総合計画を策定し、まちづくりを進めている。そこで、都市計画街路に対する取り組みの基本的方針を問う。
国道や県道名古屋・津島線といった幹線道路の整備は進んだが、町内の都市計画街路の進展は、見られない。
街路整備を早期に進めるべきではないか。

用地買収に努力する

町長 都市計画街路「堀之内・砂子線」の開通に向けて、努力している。
他の路線の整備は、短期・中期・長期路線にわけて、短期路線から進める。
問 自治基本条例の策定を
答 調査・研究していく

9月議会会期日程(案)&議会報告会のお知らせ

▼次回定例会の日程(案)をお知らせします。

- 5日(木) 本会議(上程・提案説明など)
- 10日(月) 本会議(一般質問)
- 11日(火) //
- 12日(水) 本会議(質疑等)
- 13日(木) 総務教育常任委員会
- 14日(金) //
- 18日(火) 福祉建設常任委員会
- 19日(水) //
- 25日(火) 本会議(採決など)

※日程は変更となる場合があります。

▼議会報告会を行います。

- 日時 平成24年10月26日(金)
- 午後7時～午後8時30分
- 場所 ・町立公民館
・総合福祉センター希望の家
- 内容 ①定例会、議会の活動報告
②議会基本条例(案)の説明
③住民の皆様との懇談会

※2カ所で同時に開催予定です。

※お近くの会場へお越しください。

防災意識の高揚に地域ごとの連携を図れ



豊田さか江議員

地区総代によって住民相互の連絡調整が図られ、組長が身近な連絡係として親しまれている。

地域力こそが必要

総務部長 防災力を高めるためには、隣近所の地域力こそが必要であると認識している。
「自主防災組織」設立の意思のある団体には、積極的に支援し、連携づくりに努める。

しかし、地域住民だけでは、防災意識を高める話し合いができない。
町は、総代を通して地域に出向き、防災意識の高揚に、地域の情勢にあった指導・育成を行い、官・民、力を合わせて、連携を図るべきである。

暫時休憩

▼夏休み・スイカ・風鈴・高校野球…。本格的な夏の到来。

▼この夏は、原発の再稼働が大きな議論になった。再稼働には、安全性に不安が残る。

▼一方、電力不足により、停電が起きれば、私たちの生活や経済に与える影響は大きい。

▼私たちにもできることが少なくともひとつある。こまめに節電することだ。

▼真っ黒に日焼けした、元気な子どもたちの笑顔がまぶしい。

子どもたちの笑顔のために自分たちにできることを実践していきたい。